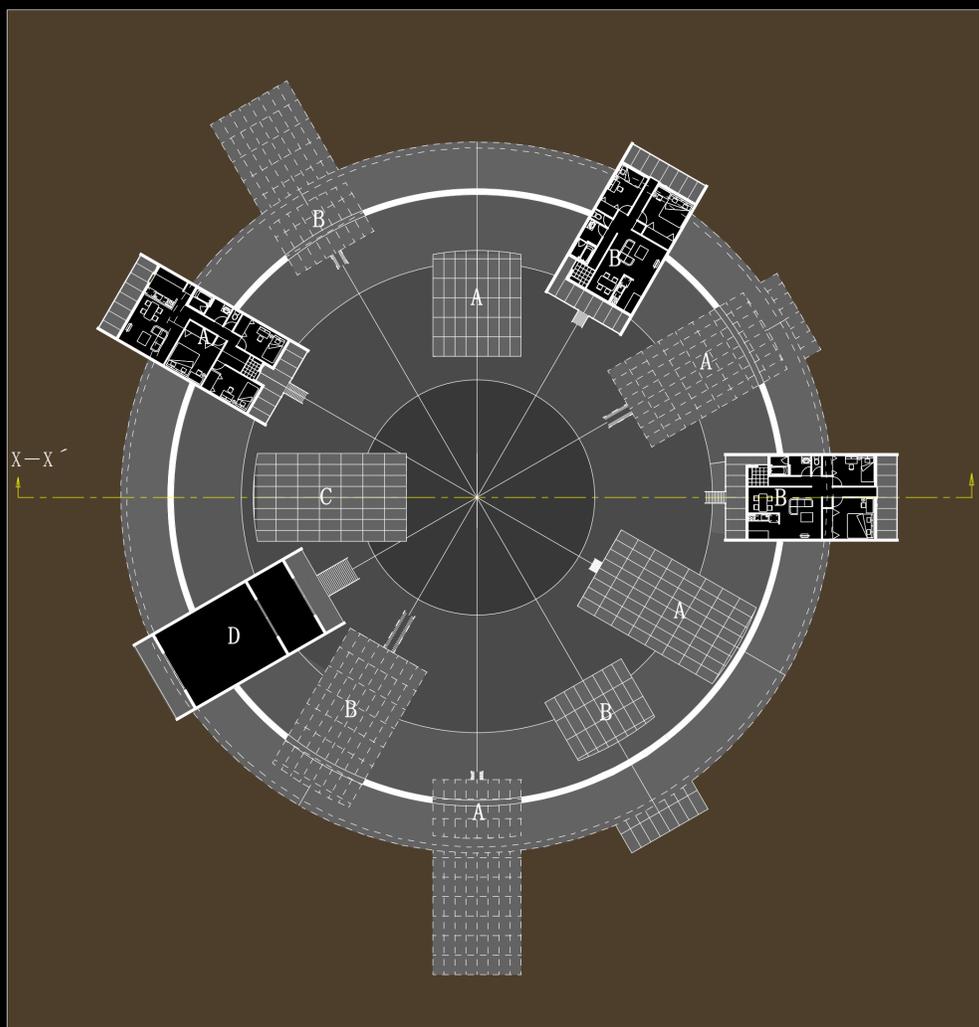


Primitive is architecture



平面図 G.L. +7500 1:300

《洞窟×建築×Primitive is architecture》

古代、人間は洞窟を生活の基盤としてきた。洞窟の中で生き、繁栄し、建築というものは生まれた。また、洞窟というのは建築の母でもあり、洞窟の持つ要素は建築本来の持つ要素でもある。つまり、洞窟はプリミティブな建築とっていい存在でありこの事実こそが、未来に向かって紡いでいかなければならないものである。

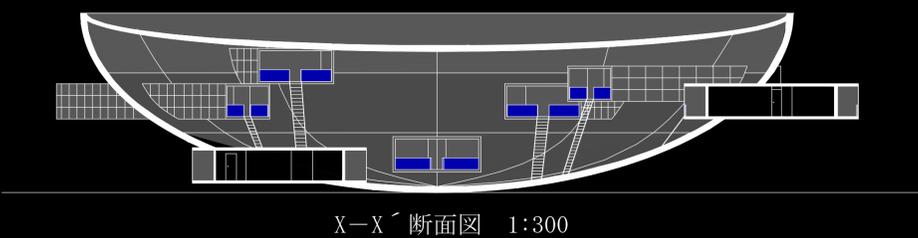
洞窟の要素はいくつかあるがその中でも大きなものとして、天井、壁、床があることで、これらは現代建築とも同じである。これらを使った一番プリミティブな形というのは四角形の箱であり、ここでは各住居、施設に相当する。この『Primitive is architecture』でもそれは同じである。各住居施設は二種類あり、各家族に合った方を選択できる。また、前後にフリースペースを設けることによって、無理なくパブリック空間からプライベート空間に移行できるように設計している。他の施設は二種類あり、宇宙空間と『Primitive is architecture』を行き来することが出来る出入口と、たくさんの物を保管、備蓄しておける倉庫がある。

住居というのは集まると一つの集団を形成する。集落、村、町、市、というようにしかし、ただ集まるだけでは形成しない。必ず、すべてにつながる共有スペースがなければいけない。この『Primitive is architecture』でもそれは同じである。西洋では教会であり、東洋では寺院であったように。すべてを包み込む半球体の構造物がそれに相当する。構造物の中心を共有スペースとしそこから放射状に各住居が配置されることによってすべてがつながる。さらに、高低差をつけ共有スペースと各住居、施設が同一線上にならないことで、一定のプライバシーを確保すると同時に中心から端に行くにしたがって、プライベートな空間になるように設計されている。

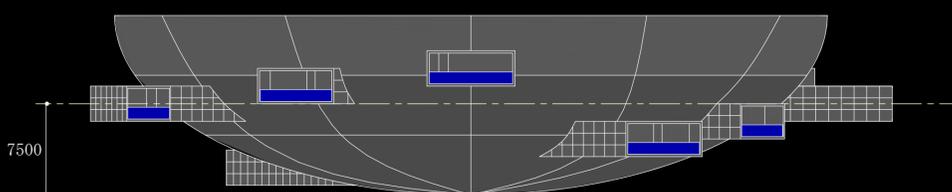
人類の歴史と共に歩んできた建築の本来の要素は、決して絶やしてはならない火のような存在である。その火が絶やされない限り、人類は何度でも繁栄を繰り返し、その時々時代に適応した幸せな生活を送ることが出来るだろう。

Primitiveとは？

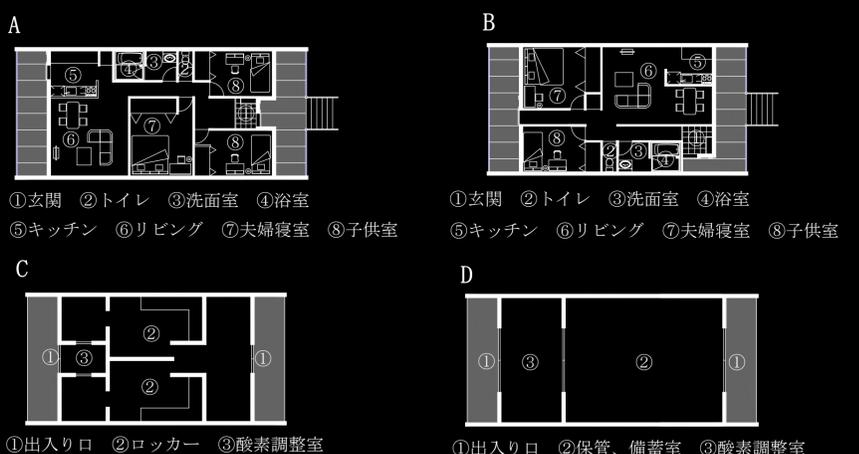
- ・古典ラテン語のpurimus「最初の」に由来している。
- ・一番始めの時代に属するもの、または一番上にランクされるものという意味である。



X-X' 断面図 1:300



立面図 1:300



- ①玄関 ②トイレ ③洗面室 ④浴室
⑤キッチン ⑥リビング ⑦夫婦寝室 ⑧子供室
- ①玄関 ②トイレ ③洗面室 ④浴室
⑤キッチン ⑥リビング ⑦夫婦寝室 ⑧子供室
- ①出入口 ②ロッカー ③酸素調整室
- ①出入口 ②保管、備蓄室 ③酸素調整室

各施設詳細平面図 1:200